

学習の森 中ノ沢溪谷森林公園 報告 ver 93

R6- syouman makkou muginotoki itaru ver93 R06.06.01

「小満 末候 麦秋至(むぎのときいたる)麦が熟し麦秋となる」

七十二候5月31日(金)では、麦が熟し麦秋となるとあります。ネットで調べましたら、麦秋の秋は季節を表す秋ではなく稲の秋に倣って収穫の時期を表す言葉で、麦収穫期を迎える初夏ということでした。暑く、梅雨真近、遅咲き樹木開花観察は最後の嬉しい時を迎えました。

6月01日(土) 早朝5時半、森林科学館明石代表にお願いして、展望台樹木ソヨゴの雌樹を教えてくださいと伺いました。何年越しの期待でしょうか、ソヨゴ雌花の美しさを撮りたい。

実際には、まだ蕾の状態、もう一度来週末に来なければ会えないこととなりましたが、何年も待ったのだから今週末にはもう一度伺うこととします。

でも、それも含めて、樹木の蕾、開花し花が散った後の小さな実が生っているのを沢山目にしました。今回はその報告です。

今回観察は、展望台への小径、頂上、その後に三階滝沢上下流域の観察です。

観察樹を列記します。

キハダ、サンカクヅル、エゴノキ、リョウブ、タムシバ、ソヨゴ、ガマズミ、ノリウツギ、ヤマツツジ、ハナヒリノキ、ナツハゼ、タカノツメ、シナノキ、カツラ、ミズキ、ウワミズザクラ・・・などです。

1 キハダ 先ず、樹木「キハダ」の学習から ※ この雌花も見たい花です！

<p>学名 <i>Phellodendron amurense</i> 属名 <i>Phellodendron</i> はギリシャ語の「phellos(コルク)+dendron(樹木)」、材に厚い樹皮がつくことから。 種小名 <i>amurense</i> は「アムール地方の」という意味。</p>	<p>キハダ 黄膚 ミカン科キハダ属 落葉高木 雌雄別株 高 20m 樹皮：灰黒色 or 黒褐色 縦長溝 若枝赤褐色～黄褐色 無毛縦長皮目 内樹皮鮮黄色 葉：対生長 20～40cm 奇数羽状複葉小葉 2～6 対 卵状長楕円形 先端尾状鋭尖基部円形広楔形 縁浅鈍鋸齒 花：枝先円錐花序出 小黄緑色花多数付 花卉 5 個 長 4mm 長楕円形 内面毛生 花期 5～7 月 果実：核果 直径 1cm 球形 9～10 月黒熟 冬芽：葉柄内芽 冬芽葉柄基部に包 秋葉落現 長 2～4cm 半球形 枝先端仮頂芽 2 個向合付 葉痕大、冬芽を取囲 側芽対生</p>
---	---

カップ広場入口のキハダ雌樹に生っていました



※ カップ広場下流 道路に沿って

少し見えにくいのですが、
中心部に花芽が見えます
次回訪問時に咲いてほしい

m DSC_7548 キハダ雌樹 花芽 R06.06.01AM0655 N.jpg

2 展望台山塊の樹木 その他

サンカクヅル、エゴノキ、リョウブ、タムシバ、ガマズミ、ノリウツギ、ヤマツツジ、ハナヒリノキ、ナツハゼ、タカノツメ

● サンカクヅル 花芽



m DSC_7554 R06.06.01AM0658 N.jpg

● エゴノキ 満開



m DSC_7556 R06.06.01AM0707 N.jpg

● リョウブ 花芽



m DSC_7559 R06.06.01AM0713 N.jpg

● タムシバ 果実



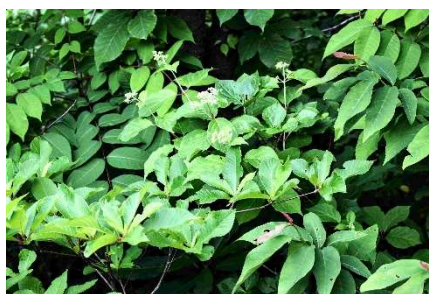
m DSC_7561 R06.06.01AM0716 N.jpg

● ミヤマガマズミ







m DSC_7566 R06.06.01AM0721 N.jpg

● ノリウツギ花芽





m DSC_7567 R06.06.01AM0722N.jpg

<p>● ヤマツツジ開花</p> 	<p>● ハナヒリノキ 樹名板&花芽</p> 
<p>m DSC_7571 R06.06.06AM0725 N.jpg</p>	<p>m DSC_7573 R06.06.01AM0726 N.jpg</p>
<p>● ナツハゼ開花</p> 	<p>● タカノツメ 実</p> 
<p>m DSC_7576 R06.06.01AM0727 N.jpg</p>	<p>m DSC_7581 R06.06.01AM0731 N.jpg</p>

3 ソヨゴ 樹木学習 ※ この雌花が見たい花です！

<p>学名：<i>Ilex pedunculosa</i> Ilex：（西洋ヒイラギ：ホーリー）の 古代ラテン名で葉の類似性から pedunculosa：形態由来「花柄のある」</p>	<p>モチノキ科モチノキ属 冬青 常緑低木 山地の乾いた山地 or 林縁に生える 名前由来 葉柄長く風に吹かれて戦（ソ ヨ）ぐ樹 葉：互生 葉身卵状楕円形 少々革質 光 沢有 縁全縁 多少波状 樹皮：灰褐色滑 花：雌雄異株 雌花 葉腋単生 雄花 花柄有 散形状花序数個付 果実：球形赤熟 2～5cm 柄有 下垂</p>
---	--

6 月 01 の花の状態です

<p>● 雄樹 雄花の花芽 ※ 花柄有 散形状とは？</p> 	<p>● 雌樹 雌花の花芽 ※ 長い柄の先に付く</p> 
<p>m DSC_7589 ソヨゴ 雄樹 花芽 R06.06.01AM0740 N.jpg</p>	<p>m DSC_7565 ● ソヨゴ雌樹 花芽 R06.06.01AM0720 N.jpg</p>

4 三階滝沢上下流域

シナノキ 花芽



m DSC_7601 ● シナノキ 花芽 R06.06.01AM0758
N.jpg

カツラ 雌樹 実



m DSC_7606 ● カツラ 雌樹 実 R06.06.01AM0800
N.jpg

ミズキ 満開



m DSC_7607 ● ミズキ満開 R06.06.01AM0803 N.jpg

ウワミズザクラアンニンゴ まだ青く



m DSC_7614 ● ウワミズザクラ アンニンゴ
R06.06.01AM0821 N.jpg

タカノツメ



果実が生っていました

まだ、小さくて！

m DSC_7625 ● タカノツメ 果実 R06.06.01AM0941 N.jpg

※ 樹木 花芽の観察 美しさを楽しませていただきました。

R06.06.05 記録 up